



第14回 海ごみの調査 開催報告

開催日 2025年10月18日（土）

1. 海ごみの調査

- ・10月4日回収@馬込川右岸河口付近の海岸
漂着ごみ：6.0kg（ごみ袋2袋）
- ・漂着ごみの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査
対象45品目の個数を数えた。（破片は、直径2.5cm以上のものが対象）



2. 「私たちの生活と身近な海岸状況」のお話

◎ 講師：Hamaumi-浜松の海を守る会 清水浩利氏

- ・遠州灘の説明 ・沿岸部のごみ説明（漂着ごみ・不法投棄）
- ・ごみの現状説明（海ごみ・川ごみ・道路沿いのごみ）
- ・漂着ごみとは！？（ごみの種類・どこから来るのか？）
- ・漂着ごみモニタリング調査結果

回収量 合計522個

1位	プラスチックシートや袋の破片	116個
2位	硬質プラスチック破片	110個
3位	発砲スチロール破片	107個
4位	食品容器（プラスチック）	51個
5位	生活雑貨（歯ブラシ・文具等）	33個
	※おもちゃ（ボール、フィギア等）	5個

3. 参加者の声

- ・ごみが動物をきずつけていることが分かった。
- ・ごみが多いことを知ったからごみを拾おうと思った。
- ・「うみがめマリンの大冒険」の絵本に書かれている海ごみと同じごみがあった。
- ・小さなごみから大きなごみまで、10m×10mの狭い範囲にもこんなにたくさんあることが驚きでした。
- ・海ごみはやがて私たち人類の脅威になると改めて感じました。
- ・ごみの量が多すぎることにびっくりしました。
- ・子どもと一緒に参加しましたが、自分自身も子どもたちにもごみを減らす意識や買う前に必要なのか、もう一度考えて行動していこうと思いました。
- ・プラスチック製品を減らしつつ、誰でも気づいたらごみ拾いをする社会にしていきたいです。
- ・分別しづらいプラスチック類があった。

